

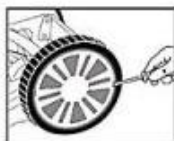
ゴールデンスター《手動》芝刈機 純正研磨セット

GL-100 ハンドル/コンパウンド/ブラシ

ご使用方法

刃調整式の芝刈機の場合は、最初に 芝刈り時より少しだけ強めに刃調整してください。

- 1 本機を裏返してください。次に、ホイールキャップの切り欠き部に、ドライバーを当て、軽くこじって外します。(機種により取り外し方が異なりますので、ご使用の芝刈機の説明書をご確認ください)



- 2 ホイール軸にはめ込んである E リングをドライバーで取り外します。

※Eリングは飛びやすいので指がウエスで軽く押さえてください。



Eリングのすき間にドライバーの先を差し込み回転させてください。



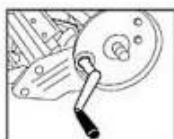
外れない場合は、軸からリングが少し浮きますので、リングの中心部にドライバーを差し込み再度回転させると E リングが外れますので、ホイールを外してください。



- 3 ピニオンギアを取り外します。
中の軸にはピニオンキーが取り付けられており、一緒に抜けることがありますので注意してください。



- 4 リール軸にピニオンキーを差し込んだ状態で、ハンドルを装着します。



- 5 リール刃の1枚1枚に、付属のブラシでコンパウンドを塗布します。

※コンパウンドは、寒冷地等では油と研磨剤が分離する事がありますが、容器に出て混ぜ合わせてからご使用いただければ問題ありません。



使用上のご注意

- ※芝刈機のリール刃及び受刃は、鋭利な刃物です。研磨作業をするときは、安全のため必ず手袋をはめてください。
- ※研磨する時は、必ず芝刈り時とは反対の方向にハンドルを回してください。
- ※刃が欠けたり大きく曲がったものは、研磨できない場合もありますので販売店にご相談ください。
- ※他社芝刈機にご使用されても研磨できない場合がありますのでご注意ください。

- 6 リール刃が芝刈り時とは逆方向(矢印方向)に回転するように、ハンドルを速く回転させて研磨してください。その時、地面に手が当たるようなら、台等で本体を持ち上げてください。



- 7 研磨の進行度合いを確認するために、乾いた布でリール刃についたコンパウンドを拭き取り、刃先が鋭くなったかどうかチェックしてください。

- 8 研磨が終了したかどうかを見る場合、リール刃と受刃を調整した後、新聞紙等をリール刃と受刃の間に挟み、手でゆっくり回して切ってみます。



- 9 新聞紙がスバッと切れないようなら、研磨不足です。再度コンパウンドを塗布し、研磨を続けてください。

- 10 研磨が終了したら、刃についたコンパウンドをウエス等できれいに拭き取ってください。

- 11 分解した時と逆の順序で組み立ててください。
※ピニオンギアとピニオンキーは方向が決まっていますので、方向を確認してセットしてください。

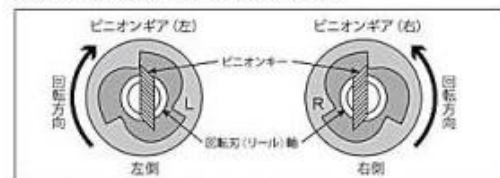
ホイール軸に E リングを合わせて、ペンチ・プライヤー等でホイール軸と E リングを挟んで はめ込んでください。

ピニオンギア・ピニオンキーの取付方向が違っていると、タイヤが回転してもリール刃が回転しないことがあります。その場合は取付方向を確認してください。



ピニオンギア・ピニオンキーの取付方向

ピニオンキーが外れた場合は下記図を参考にピニオンギアとピニオンキーの向きに注意して回転刃(リール)軸に組み込んでください。ピニオンギア、ピニオンキーの右・左は芝刈り作業進行方向に対して本機の右側・左側に組むことを表しています。



※ピニオンギア、ピニオンキーの組み込み状態を裏側から見た状態



4 951167 501106